



2011年6月13日

各位

会社名：株式会社システム ディ
代表者：代表取締役会長兼社長 堂山 道生
(コード番号：3804)
問合せ先：取締役経営企画室長 本庄 英三
電話：075-256-7777 (代)

第2四半期業績予想との差異および特別損失の計上に関するお知らせ

当社は平成23年10月期第2四半期決算におきまして、平成22年12月13日に公表いたしました平成23年10月期第2四半期累計期間(平成22年11月1日～平成23年4月30日)の業績予想と、本日公表の実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。また、下記のとおり特別損失を計上しましたので、その概要を併せてお知らせいたします。

記

1. 平成23年10月期第2四半期累計期間の業績予想との差異(平成22年11月1日～平成23年4月30日)

(1) 連結

(金額の単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	1,025	138	134	79	24円52銭
当期実績(B)	1,149	160	155	48	15円84銭
増減額(B-A)	124	22	21	△30	—
増減率(%)	12.1	15.9	16.2	△38.7	—
(ご参考)前期第2四半期(平成22年10月期第2四半期)実績 ※	—	—	—	—	—

※平成22年10月期は、連結損益計算書を作成していないため、実績を記載しておりません。

(2) 個別

(金額の単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	992	127	122	73	22円48銭
当期実績(B)	1,117	158	153	50	16円26銭
増減額(B-A)	124	30	30	△22	—
増減率(%)	12.6	24.0	24.8	△31.3	—
(ご参考)前期第2四半期(平成22年10月期第2四半期)実績 ※	792	62	58	30	9円76銭

※平成22年10月期は、決算期変更の経過期間であったため、平成21年10月1日～平成22年3月31日の6ヶ月間の実績を記載しております。

2. 差異の理由

当第2四半期では、部門毎の対象マーケットの影響を受けて営業成績が低迷した事業もありましたが、主力事業である学園ソリューション事業におけるパッケージ売上の伸長と外注費の削減により、連結・個別ともに売上、営業利益、経常利益が業績予想を上回りました。また、四半期純利益につきましては、下記3に記載の特別損失の計上等により業績予想を下回りました。なお、通期の業績につきましては、従来予想からの変更はありません。

3. 特別損失の計上

開発中のパッケージソフトウェアの一部につき、東日本大震災の影響等により、将来における販売の確実性を見込めない状況となりました。そのため、第2四半期決算において、当該ソフトウェアの資産性を見直し、連結・個別ともにソフトウェア仮勘定評価損 54 百万円を特別損失として計上いたしました。

以上